

こんなことやってます 特別編

— 農学部 取り組み紹介 2021 —

今回は現在の農学部の取り組みなどを紹介させていただきます。スマートフォンやパソコンをお使いであれば、QRコードからさらに情報が見られますのでご利用ください。

〈SDGsへの取り組み〉



宇都宮大学では、SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) に積極的に取り組んでおります。今や幼児期からSDGsについて学ぶようになり、SDGsが社会的風潮ともなってきた中で、これから就職を控え、社会を支える世代となる大学生こそSDGsを学ぶべきであるということで、各学部における教育・研究活動を進めています。SDGsフォトコンテストなどを実施するほか、2020年度からは1年生の必修授業として「SDGs入門」の講義を設けています。

令和2年度には夏秋前理事らのご尽力で、JSPS大学の世界展開力強化事業に採択され、国際学部と農学部を中心に、アフリカの6大学との連携も開始しています。

農学部では、理論の学びと農場や演習林での実体験を組み合わせ、真のSDGs人材の育成を進めています。

本学のSDGsへの取り組みについては、本年6月発売の『東洋経済 ACADEMIC SDGs に取り組む大学特集 Vol. 3』に掲載されました。また、9月発売のAERA MOOK『就職力で選ぶ大学2022』にも掲載されました。



2018年度からSDGsの達成に向けた観点で取り纏めた「宇都宮大学SDGs事例集」を作成しており、農学関連では82例が掲載されています。ぜひご覧ください。



◀ 宇都宮大学農学部 SDGs 事例集

https://www.utsunomiya-u.ac.jp/docs/2020SDGs-jirei_L7.pdf
上記アドレスか、QRから取り組み事例の詳細資料をご覧ください。

〈那須塩原市との連携事業〉

宇都宮大学は令和2年1月22日に那須塩原市との相互友好連携協定を結び、気候変動や地域活性化、学術研究において様々な活動を支援しています。環境省「令和2年度国民参加による気候変動情報収集・分析事業」に採択され、地球温暖化が地域の農業、観光、教育、防災に及ぼす影響について、教員と学生が市内各地でヒアリング調査を行っています。

農業分野では、農学部、地域デザイン科学部、バイオサイエンス教育研究センターのメンバーを中心に、園芸、米麦、酪農の生産現場で聞き取りや分析調査を行いました。

また、市民向けに気候変動の解説動画も那須塩原市出身の岡本准教授らが担当しました。その他にも、市民向けオンラインワークショップによる情報収集、渡辺美知太郎市長と学生らとのオンライン報告会を行いました。



これらの成果は、市のホームページやリーフレット等を通して、広く市民に公表しています。学生が主体的に参加したSDGsへの取り組みという点でも高く評価されています。本年度は二年目の事業も採択され、ホウレンソウなどの高原野菜について詳しい調査を進めています。

(文責 農学部長 山根 健治)



生産者聞き取り&採取調査



アスパラ調査

【上記取り組み関連動画を一般公開しております。ぜひご覧ください。】



◀ 宇都宮大学生作成動画
【気候変動の影響と対応策】



◀ 宇都宮大学生報告会動画
【市民参加による気候変動
情報収集・分析事業】